

MEISEIREPORT

第102期 株主通信

2014年4月1日～2015年3月31日

明星電気株式会社

証券コード：6709



株主のみなさまへ

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

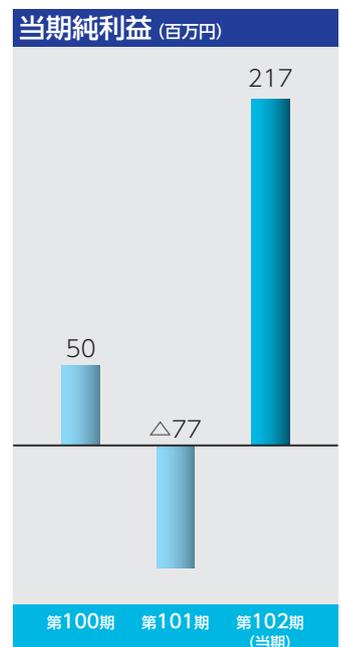
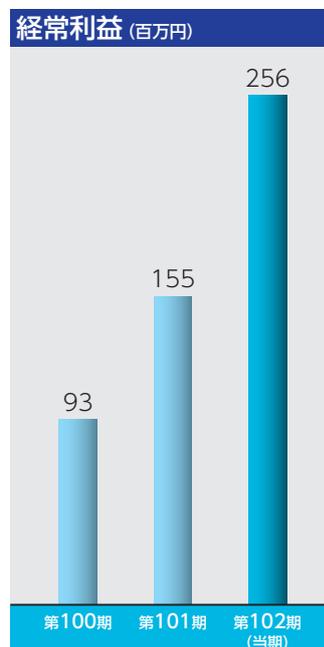
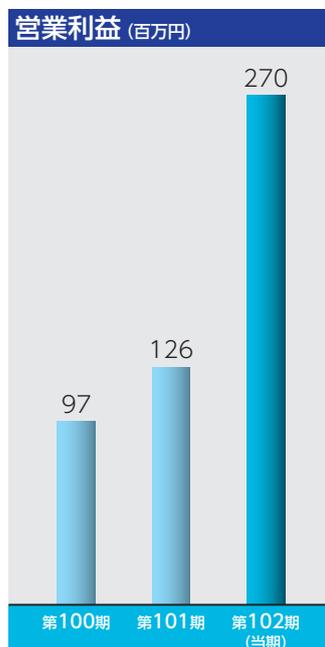
当社は成長に向け、2013年2月に発表した中期事業計画に基づき、競争力のある新商品、サービスの開発、IHIグループ会社との連携によるシナジー効果の発揮、海外進出の加速を進めてまいりました。昨年度は一定の成果も得られ、さらに全社一丸となり成長の実現に向けて活動を推進してまいります。

今後とも、「Sensing & Communication」を事業の核として皆様のご期待に沿えるよう企業価値の向上に努めてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

代表取締役社長
兼最高経営執行責任者 (CEO)

石井 潔



第102期(2015年3月期)業績報告

連結売上高

7,450 百万円

前期比

2.6%減



連結経常利益

256 百万円

前期比

65.0%増



連結当期純利益

217 百万円

前期は

77百万円の
当期純損失



当期ポイント

- 気象防災事業 ● 前期に比べ航空管制や防災関連機器の減少により減収
- 補償工事費等クレーム関係費用の減少等により増益
- 宇宙防衛事業 ● 前期に比べ宇宙関連機器の増加により増収
- 派遣外注費や研究開発費等費用増加により減益

当期の業績について

当期の業績は、「2013中期事業計画」の2年目として、一層の成長の加速を図るべく当連結会計年度から事業部制の導入を図り、営業と技術が一体となった受注活動の展開、事業ごとの業績管理を徹底してまいりました。また、継続的に競争力ある商品、サービスの開発、生産設備の増強に注力するとともに、新商品、サービスの事業化と海外展開をスピードアップさせるため、IHIグループとの事業、営業面での連携を強化し受注活動を展開してまいりました。さらに、各受注案件ごとの徹底した原価管理、全社品質改善活動の強化によって採算性の向上にも継続的に努めてまいりました。

こうした活動の成果として、新型ゾンデ「iMS-100」の海外案件第1号としてトルコ気象局からの受注が実現し、また、小型気象計による超高密度気象観測システム「POTEKA」の市場投入準備も整いました。宇宙分野においては、ロケット、各種衛星の機器開発に加え、宇宙技術を応用したXFEL（X線自由電子レーザー）向け高速読み出し装置の受注増など順調に推移しましたが、全体としては気象防災分野の受注が遅れていることから売上高計上に結びついていない状況にあります。

その結果、当連結会計年度における、連結売上高は7,450百万円と前期実績と比べ、202百万円減少（2.6%減少）となりましたが、連結営業利益は前期比113.4%増加の270百万円、連結経常利益は前期比65.0%増加の256百万円となりました。また、連結当期純利益につきましては217百万円となり前期に対して294百万円の増益となっています。

次期の見通し

今後の経営環境につきましては、原油安や低金利などの外部環境が持続することで企業業績や雇用環境の改善及び設備投資の持ち直しが見られ、個人消費も消費税増税後の落ち込みから抜け出しつつある状況から、緩やかながらも景気の回復基調は続くものと予想されます。

こうした状況下、当社は「2013中期事業計画」の最終年度として、いまだ実現できていない課題等を洗い出し優先順位を決めて取り組み、成長の実現のためにあらゆる努力を傾けていきます。

当連結会計年度終了時点での中期事業計画の進捗は、差別化された商品、サービス開発という点ではほぼ予定通り進んでおり市場からも評価をいただいておりますが、受注については一部成果が発現しているものの、全体としては中期事業計画策定時点に想定したものに対しやや遅れている状況であり、次期における一層の努力、加速が必要となっています。海外への進出加速、IHIグループとの連携、さらにはビジネスパートナーの積極活用で受注増、成長の実現を図っていきます。また、継続して全社業務・品質改善活動を推進し、各受注案件のQCD管理の徹底を図り、お客様のご期待に応えるとともに収益改善に結び付けていきます。

以上の点を踏まえて、次期の業績見通しは、連結売上高9,000百万円、連結営業利益500百万円、連結経常利益490百万円、連結当期純利益350百万円を見込んでおります。

気象防災事業 売上高：4,743百万円（前期比：11.1%減）

当期売上高構成比
63.7%

この分野には、気象観測、航空管制、防災、水管理の事業があります。
気象観測の事業は、高層気象観測と地上気象観測があり、高層気象観測では、世界最小・最軽量の新型ゾンデ「iMS-100」の開発が完了し、海外向けの第1号としてトルコ気象局で採用されました。今後も海外事業の拡大に繋がっていきます。地上気象観測では、海上自衛隊へ統合航空気象観測装置を納入いたしました。また、気象情報提供サービス「POTEKA」に用いる気象庁検定付き小型気象計の開発が完了し、今後は「POTEKA」の事業化に向けた活動を展開いたします。昨年度、広島県より山地災害予知施設監視局設備を受注し、広島市安佐北区に同設備を納入いたしました。

航空管制の事業では、調布飛行場に管制塔設備を納入しております。
防災の事業では、従来の製品である緊急地震速報（QCAST）、長周期地震動対応地震計、制御用地震計等に加えエレベータ用地震計を開発し販売も開始いたしました。本年度も各種ラインナップのある明星地震計のさらなる拡販を行ってまいります。また、一昨年度に日本電気(株)から受注しましたフィリピン向けの津波計、強震計は昨年度無事納入いたしました。今後の海外事業の拡大に繋がってまいります。

水管理の事業としては、昨年度は群馬県平出ダムの遠隔監視装置、(株)HIインフラ建設と協業し常陸川水門制御設備を納入しました。本年度は水門制御装置等の販売により水管理事業の発展を目指してまいります。

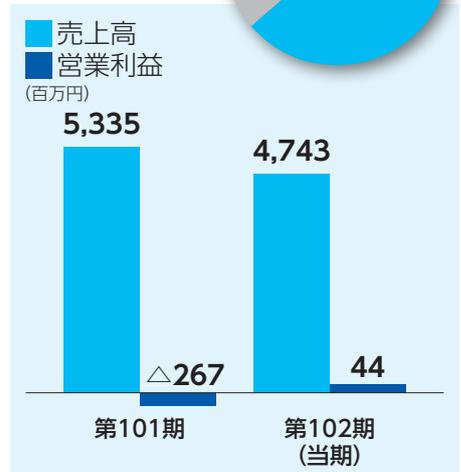
また、IHIより生産委託を受けました三次元レーザレーダ事業につきましても、本格的生産を開始しております。



平出ダム



POTEKA小型気象計



※当期より、セグメント情報の区分を見直しており、前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値を記載しております。

財務状況

●資産

流動資産は前期比64百万円増加となりました。主な内訳は受取手形・売掛金、原材料・貯蔵品、短期貸付金等の増加と現金及び預金、製品等の減少。

固定資産は前期比298百万円増加となりました。主な内訳は機械装置・運搬具、建物・構築物等の増加と繰延税金資産等の減少。

●負債

流動負債は前期比239百万円増加となりました。主な内訳は1年以内返済予定の長期借入金、未払金、賞与引当金等の増加と製品保証引当金の減少。

固定負債は前期比7百万円増加となりました。主な内訳は退職給付債務、リース債務等の増加と長期借入金の減少。

●純資産

純資産合計は前期比116百万円増加となりました。株主配当実施により、利益剰余金が減少。

連結貸借対照表 (百万円)

資産合計		負債純資産合計	
前期末	当期末 (第102期)	前期末	当期末 (第102期)
10,313	10,676	10,313	10,676
流動資産 6,870	流動資産 6,935	負債 4,572	負債 4,818
現金及び預金 675	現金及び預金 164	流動負債 2,485	流動負債 2,724
原材料及び貯蔵品 389	原材料及び貯蔵品 507	固定負債 2,087	固定負債 2,094
短期貸付金 123	短期貸付金 546		
その他流動資産 5,683	その他流動資産 5,718		
有形固定資産 3,205	有形固定資産 3,543	純資産 5,741	純資産 5,857
無形固定資産 56	無形固定資産 49	株主資本 4,184	株主資本 4,160
その他固定資産 180	その他固定資産 149	その他の包括利益累計額 1,557	その他の包括利益累計額 1,697

宇宙防衛事業 売上高：2,707百万円（前期比：16.8%増）

当期売上高構成比
36.3%

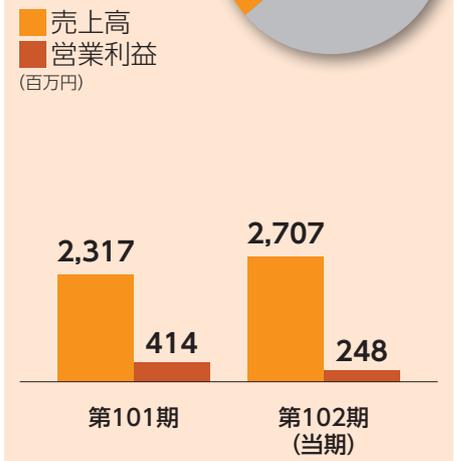
宇宙防衛事業部は、ロケット、衛星、宇宙ステーションに搭載するバス機器(注1)、ミッション機器(注2)を扱う宇宙事業と、防衛省の飛翔体搭載機器等を扱う防衛事業を所掌としております。

主な取扱い製品は、宇宙環境・地球環境計測機器、ロケット・衛星に搭載する監視カメラ、防衛省の飛翔体に搭載されるテレメータ（アンテナ駆動装置、送受信装置）や宇宙環境での熱真空、振動、放射線試験等の受託試験です。

当社が開発・製作にかかわった小惑星探査機「はやぶさ2」では、①小惑星「1999JU3」において、太陽系形成時に存在していた水を調査する近赤外分光計「NIRS3」、②「はやぶさ2」から分離し、衝突実験中の状況を撮影する理学観測分離カメラ「DCAM3」、③衛星推進のイオンエンジン部分に2式搭載し、エンジン周辺の汚染を質量変化で計測するセンサ「宇宙用QCM」の3基の観測機器が搭載されています。同時打ち上げの小型副衛星にも地球周囲のガスを撮影する当社のジオコロナ観測装置「LAICA」が採用されています。

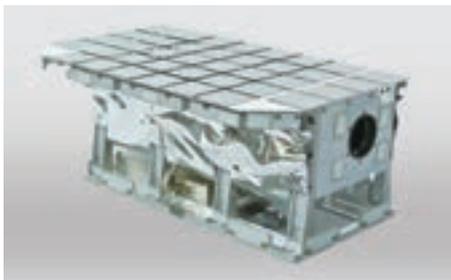
また、本事業部では、宇宙分野で培った技術を応用した地上製品への展開も進めており、X線自由電子レーザー（XFEL）用の高速読み出し回路を開発・製造しております。

最先端のセンサ機器を提供して、グローバルで変化する地球環境の監視や人類の安全、安心な社会の発展に寄与できる宇宙利用の拡大を推し進めていきます。



※当期より、セグメント情報の区分を見直しており、前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値を記載しております。

注1 バス機器：衛星の基本機能に必要な機器
注2 ミッション機器：衛星の目的に必要な機器



NIRS3

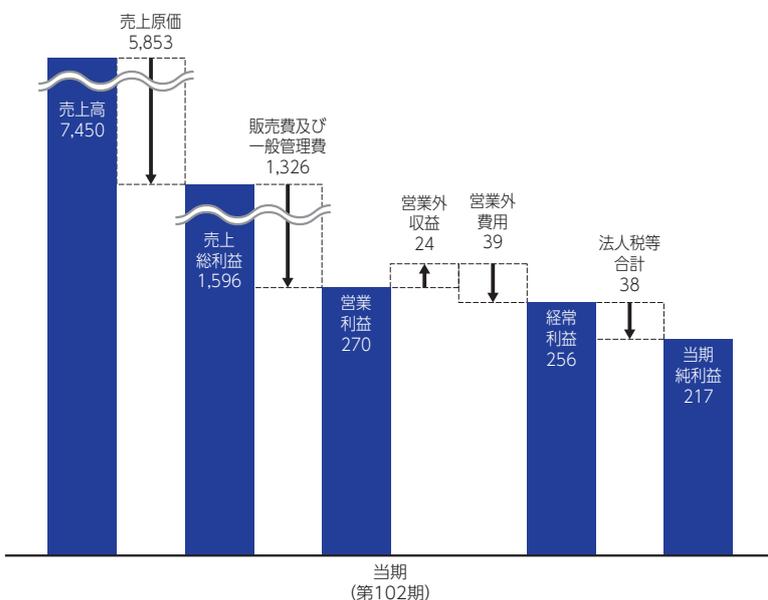


DCAM3

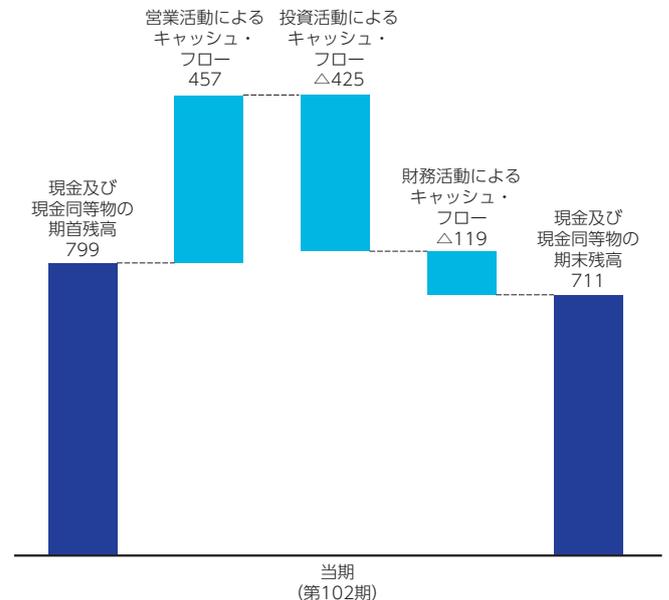


宇宙用QCM

連結損益計算書 (百万円)

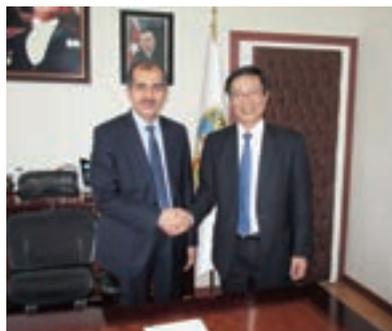


連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



TOPICS

iMS-100海外で初受注



トルコ共和国気象局Ismail Gunes長官と石井社長

昨年開発を完了したGPSラジオゾンデiMS-100を、トルコ共和国森林・水資源省気象局から10,000台一括受注しました。IHIとの連携による受注であり、iMS-100としては初の海外受注です。既にトルコ共和国国内の10か所に地上受信局を設置完了しており、出荷を開始しました。iMS-100は、世界最小、最軽量であり、ラジオゾンデを小型・軽量とすることで、飛場に必要バルーンの小型化、省資源化が同時に実現でき、観測にかかる費用も削減できます。ラジオゾンデによって得られる高層気象データは、天気予報、気候監視など様々な社会的ニーズに対して重要な役割を担っています。



iMS-100

● 株式の状況 (2015年3月31日現在)

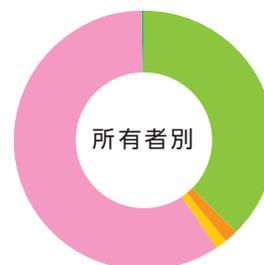
発行可能株式総数	235,560,000株
発行済株式総数(自己株式含む)	132,796,338株
株主数	7,806名
自己株式数	34,019株

● 大株主一覧 (2015年3月31日現在)

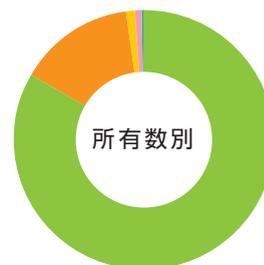
株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社IHI	67,720,000	51.00
日本電気株式会社	2,634,772	1.98
荒井忍	2,589,000	1.95
日本証券金融株式会社	1,311,000	0.98
丸栄ハウジング株式会社	1,050,000	0.79
野村證券株式会社	835,000	0.62
ヒロヨコ山合資会社	800,000	0.60
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	737,000	0.55
有限会社荒井経済研究所	714,000	0.53
クレディスイスア-ゲー チュ-リツヒレジデントトウキョウ	710,000	0.53

※持株比率は、自己株式(34,019株)を控除して計算しております。
 ※持株比率は、小数点第三位以下を切捨てて記載しております。

● 株主構成 (2015年3月31日現在)



個人・その他	49,930,911株	37.59%
金融機関	2,371,937株	1.78%
外国人	1,621,801株	1.22%
その他の法人等	78,837,670株	59.36%
自己株式	34,019株	0.02%



10単元未満	6,522名	83.55%
10~50単元未満	1,110名	14.21%
50~100単元未満	97名	1.24%
100~500単元未満	64名	0.81%
500単元以上	13名	0.16%

※上記株主構成の比率は、小数点第三位以下を切捨てて記載しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
監査法人	新日本有限責任監査法人
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

公告方法 当社のホームページ (<http://www.meisei.co.jp/>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所

当社では、単元株に満たない株式の買取りを行っております。買取りをご希望される株主様は、株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

第102回定時株主総会決議ご通知

平成27年6月24日開催の当社第102回定時株主総会において、
下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

- 報告事項**
- 第102期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第102期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

- 決議事項**
- 第1号議案 剰余金の処分の件
本件は、原案通り承認可決され、期末配当金は1株につき1円となりました。
- 第2号議案 取締役6名選任の件
本件は、原案通り石井潔、寺島光彦、柴田耕志、羽根木武、橋本英人の5氏が再選され、それぞれ重任し、新たに山下守氏が選任され、就任いたしました。
- 第3号議案 監査役2名選任の件
本件は、原案通り新たに並木繁和氏、中村明弘氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

会社情報

● 会社の概要 (2015年3月31日現在)

商号	明星電気株式会社
本社	群馬県伊勢崎市長沼町2223番地
設立	1938年2月20日
資本金	2,996百万円
従業員数	351名（連結）

● 事業所

本社	〒372-8585 群馬県伊勢崎市長沼町2223番地 電話 (0270) 32-1111 (代表)
東京事業所	〒135-8115 東京都江東区豊洲三丁目1番1号 (豊洲IHビル10階) 電話 (03) 6204-8250 (代表)
支店	北海道支店(札幌)、東北支店(仙台)、 関東支店(東京)、関西支店(大阪)、 中四国支店(広島)、九州支店(福岡)
出張所	中部出張所(名古屋)、沖縄出張所(西原)

● 役員一覧 (2015年6月24日現在)

代表取締役社長	石井 潔
常務取締役	寺島 光彦
取締役	柴田 耕志
取締役	羽根木 武
社外取締役	橋本 英人
社外取締役	山下 守
常勤監査役	谷田貝 勉
社外監査役	入澤 武久
社外監査役	並木 繁和
社外監査役	中村 明弘

当社ホームページについてのご案内



明星電気株式会社

本社 群馬県伊勢崎市長沼町2223番地
電話 (0270) 32-1111 (代表)

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

